

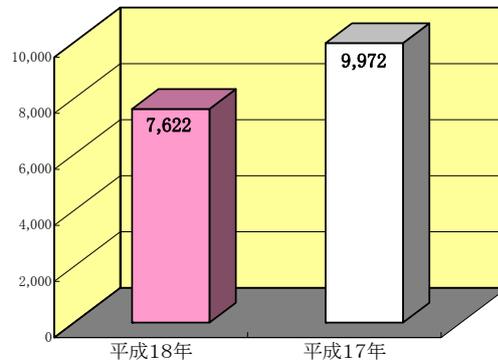
# 空き巣編

## < 空き巣の現状（平成18年中） > ※ 数値は確定値ではありません。

※ 「空き巣」とは、家人等が不在の住宅の屋内に侵入し、金品を窃取するものをいいます。

### ○ 大阪府下の空き巣の認知件数

	大阪府下	
	大阪市内	市外
平成18年	7,622 件	4,366 件
平成17年	9,972 件	6,070 件
増減	-2,350 件	-1,704 件
増減率	-23.6%	-28.1%

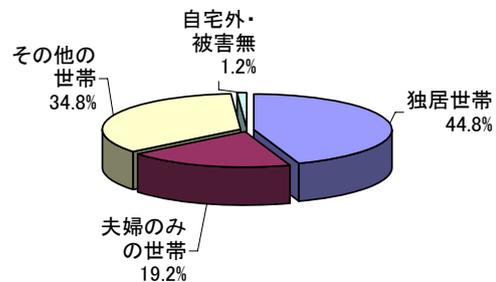


### ○ 世帯別認知状況

平成18年中に認知した空き巣事件を見ると、被害者世帯別の状況は、「独居世帯」が4割を超えて最も多くなっています。

※ 「その他の世帯」とは、「独居世帯」・「夫婦のみの世帯」以外の世帯をいいます。

※ 「自宅外」とは、被害者が所有しているが、日常起居していない場所（別荘等）での被害を指します。



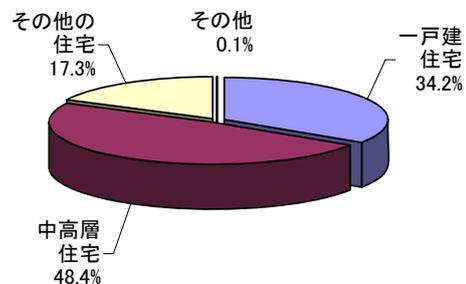
### ○ 発生場所別認知状況

発生場所別では、「中高層住宅」の被害が約半数を占めており、次いで「一戸建住宅」が約3分の1となっています。

※ 「一戸建住宅」とは、専ら居住の用に供されている住宅で、一つの建物が一つの住宅であるものをいいます。

※ 「中高層(4階建以上)住宅」とは、1棟の中に3戸以上の住宅があり、廊下、階段及び外部への出入り口を共同で使用している住宅であって、4階建以上の鉄骨造り又は鉄骨・鉄筋コンクリート造りのものをいいます。

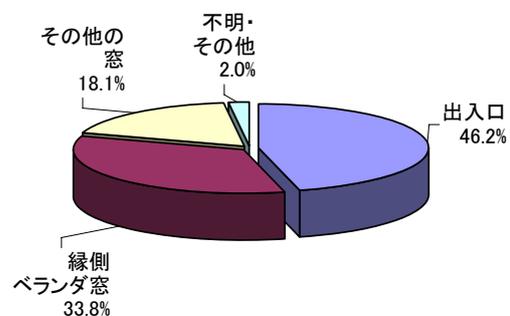
※ 「その他の住宅」とは、一戸建住宅及び中高層(4階建以上)住宅以外の住宅をいいます。例えば、3階建以下の共同住宅や、二つ以上の住宅を一棟に建て連ね各住宅が壁を共用している、いわゆる長屋建て住宅等をいいます。



### ○ 侵入口別認知状況

泥棒が住居等に入ってくるその侵入口別では、「出入口」からが46.2%と最も多くなっていますが、「縁側ベランダ窓」と「その他の窓」を合わせると5割を超え、窓からの侵入が多いことが分かります。

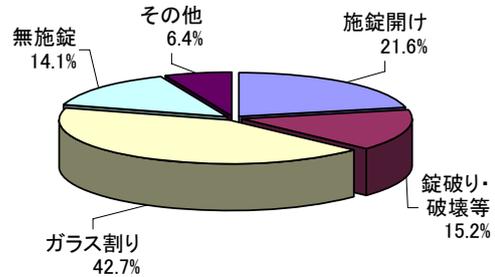
※ 出入口は、「表出入口」、「非常口」、「その他の出入口」の合計を、その他の窓は、「居室窓」、「その他・窓」の合計を示します。



## ○ 侵入手段別認知状況

侵入手段別では、「ガラス割り」が全体の4割以上を占めており、ガラス窓が狙われやすいことを示しています。そのほか、ピッキングやサムターン回しなどによる「施錠開け」、パールなどで施錠部や郵便受けを壊す「錠破り・破壊等」が続きますが、全く鍵を掛けていない被害も14.1%あります。

※「施錠開け」は、「施錠開け合い鍵」と「施錠開けその他」の合計を、「無施錠」は「開け放し」「施錠設備なし」「施錠せず」の合計を示します。



## ○ 特異侵入手段の状況

区 分	ピッキング				サムターン				郵便受け壊し			
	H18	H17	増減	率	H18	H17	増減	率	H18	H17	増減	率
合 計	400	546	-146	-26.7%	262	293	-31	-10.6%	337	273	+64	+23.4%

「ピッキング」や「サムターン」は昨年対比減少していますが、「郵便受け壊し」は増加となっています。

## ○ 被害額

昨年の空き巣の被害総額は約40億円、1件当たりでは約52万円にもなります。空き巣に入られると大変な被害を受けることになるのです。

区 分	被害総額(千円)		1件当たり被害額(円)
	うち現金(千円)		
合 計	3,968,691	968,151	520,689